

**= 資 料 編 =**

資料1	各町ごとの主な取組状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	21
資料2	遠野市地球温暖化対策実行計画平成19年度実績報告		31
資料3	ふるさと遠野の環境を守り育てる基本条例	・・・・	33

## 各町ごとの主な取組状況（各地区センター調べ）

## 【遠野町】

= 地区別の目標 =

道路清掃、河川清掃、鍋倉公園清掃、花いっぱい運動等環境美化活動を推進します。

動植物に配慮した環境づくりに努めます。

城下町としての町並みの保存や景観の創出に努めます。

廃棄物の減量化やリサイクルを促進します。

環境への関心を高めるため、環境教室・講座等を開催します。

	取組状況	実施日	参加者数
環境美化の推進	一斉道路清掃・一斉河川清掃及び各自治会における「花いっぱい運動」の実施により、町内の環境美化及び環境保全意識の醸成に努めました。	4/7、6/14、 8/5	全世帯
	春季・秋季清掃週間に併せて、町内各戸の清掃点検を実施、環境パトロールをしながら環境美化に努めました。	4/16～22、 9/24～30	全世帯
	松崎地区と合同で「園芸教室」を開催し、花の植栽方法を学びながら園芸への理解を深め、環境美化、景観作りに対する意識の高揚に努めました。	6/5、7/6、 8/22、9/28	76名
	市街地の水路を市民と行政が協働して清掃する「みんなの水路クリーンアップ事業」を実施し、環境美化に努めました。	8/1～3	30名
動植物(の生態系)に配慮した環境づくり	一斉河川清掃をホタルの生息地や水生生物に配慮しながら実施しました。	8/5	全世帯
城下町としての文化的町並みの保全及び景観の創出	多くの住民参加による「南部氏遠野入部行列」の開催により、城下町の歴史に関する理解を深めました。	5/3	300名
	昔から伝わる祖霊迎いの年中行事「まつび焚き」を実施し、町屋の盆行事の景観づくりに努めました。	8/13・14	68名
廃棄物の減量化及びリサイクルの促進	各区の公衆衛生組合長や保健推進委員等により、ゴミの正しい出し方やゴミの減量化などの推進に努めました。	-	-
環境教育・講座等の推進	区長会研修により、福島県須賀川市「㈱ひまわり」の施設を視察し、廃棄物リサイクルの取り組みと施設概要について研修しました。	10/12・13	31名

【綾織町】

= 地区別の目標 =

沿道の花いっぱい運動やごみ拾いなどの美化活動を推進します。

動植物に配慮した環境づくりに努めます。

桜並木の保全に努め、市民の憩いの空間作りを推進します。

郷土芸能の保存伝承を推進します。

耕種農業と畜産農業が連携した環境保全型農業を推進します。

資源回収活動を促進します。

環境学習に積極的に参加します。

生活雑排水の浄化意識の向上に努めます。

	取組状況	実施日	参加者数
環境美化の推進	一斉河川清掃や町内の国道 283・396 号線沿い 8 km にわたり約 5 万本のマリーゴールドの植栽を行う「花街道あやおり」の実施により、環境美化及び環境保全意識の醸成に努めました。	7/1、8/5	延べ 1,150 名
桜並木の保全及び市民憩いの空間の創出	猿ヶ石川沿いの桜並木の下刈り・枝切り等を行うことにより環境美化及び保全の意識醸成に努めました。	4・6・8 月	延べ 24 名
郷土芸能の保存伝承	「あやおり祭り」の実施により、古くから伝わる郷土芸能の伝承と保全に努めました。	7/22	600 名
資源回収活動の推進	綾織中学校の資源回収や公衆衛生組合による町内ゴミ収集所付近の不法投棄パトロールの実施により、不法投棄の防止と分別の徹底に努めました。	4/7・8、8/2、8/25、11/1	延べ 169 名
環境教育研修の推進	区長、保健推進委員研修で宮城県大崎市田尻地区の独特な環境保全型農業活動について研修してきました。	9/6、7	13 名

## 【小友町】

= 地区別の目標 =

巖龍神社や藤沢の滝周辺の環境保全に努めます。

ホタルやモリアオガエルの保全に努めます。

宿場町の情景や小友まつりや裸参りなどの文化を保存します。

耕種農業と畜産農業が連携した環境保全型農業を推進します。

水質調査を実施、水辺を利用した環境教育を推進します。

	取組状況	実施日	参加者数
花いっぱい運動	小友町農産物直売所や地区センター、小学校、中学校の花壇等に植栽して美しい町づくりに努めました。	5/30	100名
ホタルやモリアオガエルなどの希少動植物保全	ホタルの生息地調査や観察会の実施により、貴重な動植物の保全意識の向上に努めました。	6/3～8/5	述べ 180名
宿場町や小友まつり、裸参りなどの文化継承及び保全	小友まつり、小友裸参りをはじめとした祭りの実施により、郷土の伝統行事の保存と伝承に努めました。	8/25・26、 2/28	延べ 1,186名
	「小友町探訪会」と題し、町内の名所旧跡を訪ねることにより、郷土の理解に努めました。	6/12、8/9、 11/26	24名
資源回収活動の推進	小友中学校の資源回収や公衆衛生組合による町内ゴミ収集所付近の不法投棄パトロールの実施により、不法投棄の防止と分別の徹底に努めました。	4/15、8/5 9/24～30	延べ 552名
その他	環境パトロール（土室方面のゴミ不法投棄現場等）を行いました。	8/19、9/24	14名

【附馬牛町】

= 地区別の目標 =

森林の持つ水源かん養等多面的機能の維持・増進を図ります。

自然環境の再生・修復を推進します。

猿ヶ石川の源流域として、水質保全を図ります。

循環型社会システムづくりやグリーンツーリズムを推進します。

身近な自然環境の分布を把握し、自然への関心を高め、保全の必要性の理解を深めます。

	取組状況	実施日	参加者数
自然環境の再生、修復及び保全	附馬牛バイパス開通に伴った残地を利用して、花壇整備及び花の植栽及び除草を行い、環境美化・景観作りに対する意識の高揚を図りました。	6月～10月	52名
	ふれあいホーム堤防斜面の芝桜の除草を行い、環境保全及び名勝の整備に努めました。	7/13	20名
	白滝神社周辺及びかっぱのすわり石付近、片岸砂防ダム内の清掃及び除草作業を行い、環境保全に努めました。	8/5	40名
	東禅寺跡周辺の草刈とゴミ拾いを行い、名所旧跡の整備及び環境保全に努めました。	6/15・7/27	60名
	東禅寺小学校跡地の草刈とゴミ拾いを行い、町民の憩いの場づくりに努めました。	7/2・8/5	60名
	大野集落に不法投棄されていたゴミの収集を行い、環境美化に努めました。	10/27・11/6	50名
	雪解けに合わせて大出～大野までの市道のゴミ拾いを行い、環境美化に努めました。	4/29	40名
猿ヶ石川の源流域としての水質保全	河川環境整備の実施により、環境美化及び環境保全意識の醸成に努めました。	8/5	495名
環境循環型システムやグリーンツーリズムの推進	区長・保健推進員合同研修を実施し、秋田県の秋田市総合環境センターでゴミの分別や再利用について研修をしました。	11/1	11名
身近な自然環境の分布把握及び保全意識の向上	町内の環境パトロールを実施し、ゴミ集積所の利用状況及び不法投棄現場の把握により、環境保全意識の向上を図りました。	6/14・11/12	18名

【松崎町】

= 地区別の目標 =

花いっぱい運動や道路・花壇の清掃の活動を推進します。

動物愛護精神の醸成を図ります。

田園風景にふさわしい景観を保全します。

自然環境の再生を推進します。

耕種農業と畜産農業が連携した環境保全型農業を推進します。

環境学習に積極的に参加します。

	取組状況	実施日	参加者数
環境美化運動の推進	春季・秋季一斉道路清掃、一斉河川清掃及びマリーゴールド 20,000 本とコスモスを道路沿いに植栽する「花いっぱい運動」の実施により、町内の環境美化及び環境保全意識の醸成に努めました。	4/1、6/24、8/5、10/28	延べ 3,300 名
	地区センターを利用する団体が施設周辺の草取りやサッカー場のごみ拾いを行い、環境美化を図りました。	5月～11月	延べ 920 名
自然環境の再生推進	松崎町宮代自治会とグリーンツーリズムの調査活動で訪れた東洋大学生と元八幡宮周辺の下草刈りや除間伐作業体験を実施し、里山を保全する意識の醸成を図りました。	9/20	40 名
環境教育・講座等の推進	遠野地区と合同で「プランターでつくる初めての家庭菜園教室」を開催し、堆肥を使った野菜の植栽方法を学びながら園芸への理解と、環境保全型農業への理解を深めました。	6/5、7/6、8/22、9/28	42 名
	松崎町地域婦人団体協議会が家庭での生ゴミによる堆肥化を学んだことを基に、身近で自然にやさしい生活に努めました。	通年	45 名
	松崎町地域婦人団体協議会が持ち寄った使い古しのシーツやタオル等でウェス作りに取り組み、リユースウェス(1,599 枚)として社会福祉団体へ寄付し自然にやさしい活動に努めました。	6/29	11 名
	区長・保健推進委員合同研修会において、秋田県由利本庄市を視察し、ごみの有料化制度への取組を学び理解を深めました。	7/11、12	14 名
	児童生徒を対象としたサイクリングを実施し、豊かな自然を享受できることの大切さを学習しました。	10/13	106 名

	松崎町地域づくり連絡協議会はエコバックを配布し、買い物時に持参するよう協力を呼び掛け、身近で自然にやさしい生活に努めました。	1/27	70名
その他	松崎町公衆衛生組合において、町内を巡回・点検する環境パトロールを実施し、環境整備の状況把握に努めました。	7/3、12/4	16名

### 【土淵町】

= 地区別の目標 =

農業集落排水事業や浄化槽設置、水源の涵養などの環境保全や美化活動を推進します。

水生生物の生息に配慮するとともに水に親しめる河川や水路改修に努めます。

民話のふるさとを醸し出す自然景観の保全や郷土芸能・伝承行事の保存に努めます。

耕種農業と畜産農業の連携、ゴミの減量化やリサイクルを促進するとともに、環境保全型農業や循環型社会を推進します。

森や川に親しむ環境学習会の開催や環境美化活動などを積極的に推進します。

	取組状況	実施日	参加者数
環境美化運動の推進	町内一斉道路清掃を行い沿道の空缶ペットボトルの回収や、路肩の泥上げを行いました。	4/7	約700名
	町内の観光スポットである貞任高原水芭蕉群生地及び沿道のごみ・空き缶拾いの実施により、貴重な自然環境の保全に努めました。	6月～10月	80名
	老人クラブと共同で地区センター周辺の「ふれあい花壇づくり」を行い、児童クラブ父母会などと共同で花壇の手入を行いました。	6月～10月	約100名
	第2区自治会では国道沿いに花壇を作り、ミニひまわりやマリーゴールドの植栽をし、環境美化に努めました。	6月～10月	100名
	第3区久保自治会では国道沿いにマリーゴールドを植栽し環境美化に取り組みました。	6月～10月	30名
	第6区柏崎自治会では市道沿いにマリーゴールドを植栽し環境美化に取り組みました。	6月～10月	20名

	第7区ではスイセンクラブを結成して、五日市川両岸の花いっぱい運動を展開し、環境美化に努めました。	6月～10月	70名
	第10区自治会では国道沿いにマリーゴールドを植栽、観光スポットの「狐の関所」付近の環境美化に努めました。	6月～10月	100名
	貞任牧野組合では、会員総出で貞任高原のごみ拾いを行いました。	6月～10月	40名
	市内一斉河川清掃により、草刈り・ごみ拾いを行い、終了後交通安全協会会員が町内のカーブミラー清掃を行いました。	8月5日	約800名
水生生物の生態系調査と環境に配慮し、水に親しめる河川及び水路改修の推進	9区自治会有志によるカップア淵から9区地内を流れる蓮池川の護岸工事や川底からのゴミ拾いを実施し、水のきれいな川づくり、ビオトープゾーンとしての水辺の動植物復元に努めました。	4月～3月	60名
	土淵中学校では8年間に渡り、地域内の水質調査を行い、水質保全の意識高揚に努めました。	通年	生徒会
	土淵小学校では地域の河川の水中生物調査を行い、水質保全の意識高揚に努めました。	通年	児童会
	カップア淵に隣接する市有地に池の造成をし、観光客や地域の人たちが親しめる環境を整えました。	3/23	60名
耕畜連携による環境保全型農業の推進	栃内地区堆肥生産利用組合では、畜産農家から出される糞尿を良質の堆肥にし、有機資源として農地に還元すること「栃内土づくりセンター」を活用し、耕畜連携による環境保全型農業の推進に努めました。	10/1	250名
リサイクル促進による循環型社会の推進	土淵小学校及び土淵中学校の児童生徒、父母らによるビンやアルミ缶、紙類等の資源回収に努めました。	9/1	200名
森や森林に親しむ活動	区長会では山形県天童温泉を視察し、ごみの循環型再利用の取組みを研修しました。	10/21、22	12名
	貞任牧場で行われた、植樹祭に積極的に参加し植樹を行いました。	5/27	50名
	五日市地区のヒバ林の間伐、枝打ちを行い、森林の美化に努めました。	11/11	30名

【青笹町】

= 地区別の目標 =

花いっぱい運動やバイパスの清掃などの環境美化活動を推進します。

自然との触れ合いと水資源の保全に努めます。

排水の浄化意識の向上を図ります。

事業所では周辺環境に配慮した事業の展開に努めます。

文化財の保存活動を推進します。

耕種農業と畜産農業が連携した環境保全型農業の推進に努めます。

資源回収活動を促進します。

環境学習を積極的に促進します。

	取組状況	実施日	参加者数
環境美化運動の推進	春季・秋季大掃除、一斉河川・バイパス清掃及びマリーゴールドやサルビアを沿道に植栽する「花いっぱい運動」の実施により、町内の環境美化及び環境保全意識の醸成に努めました。	4/22、6/10、8/5、9/9、10/30 他	約 3,000 名
	各区老人クラブが、青笹町民俗館の周辺の環境整備を行い、環境美化に努めました。	4/27、6/28、8/27、9/26、11/25	約 70 名
	老人クラブによる地区センター周辺の環境美化活動が行われ、地域環境美化への弾みがつきました。	7/10、10/15	130 名
文化財の保存活動推進	しし踊り保存会と連携し、保育園児や小中学生を中心とした継続的な指導や、運動会・まつりなどの発表の機会を繰り返し設けることにより、「青笹しし踊り」への理解と伝承に努めました。	5・8・9・10 月他	約 450 名
資源回収活動の推進	町内ゴミ収集所付近を中心とした環境パトロールの実施により、不法投棄の防止と分別の徹底に努めました。	6/18、11/1	44 名
	行政区において資源回収活動を行い、リサイクル品目の回収に努めました。	随時	250 名
	森林管理署が主体となって行った笛吹き峠の不法投棄ゴミ撤去に、区長等が参加し、環境整備を行いました。	11/16	10 名
環境教育・講座等の推進	行政区単位で、地域内の子どもからお年寄りまでが参加し、地域内のゴミを拾い環境美化に努めました。	4 月～10 月	250 名
	小学生を対象に環境学習会を開催し、町内の川にいる水中生物から水の汚れ具合を観察しました。	8/3	10 名

	地区センターにペレットボイラーとペレットストーブを設置し、石油に代わる暖房施設して活用するとともに、地域住民へ環境にやさしい施設としてのPRを図りました。	-	-
--	---	---	---

## 【上郷町】

= 地区別の目標 =

大峰鉦山跡地の白樺樹林の保全に努め、体験学習の場として活用を図ります。

動植物の生息地である湧水の保全と活用を推進します。

早瀬川の源流域として、水質の保全に努めます。

「上郷聞歩」編集の際発掘した、名所旧跡や自然景観を保全します。

環境学習の機会を創出し、積極的に参加します。

	取組状況	実施日	参加者数
大峰鉦山跡地における白樺樹林の保全及び体験学習の推進	地元の特産である白樺樹液採取を通じた体験学習と世代間交流により、次代を担う子どもたちの自然とのふれあいを深める場と環境保全意識の高揚に努めました。	4/1～4/25 4/10 体験学習	51名
動植物の生息地である湧水の保全・活用	一斉河川清掃の実施により、雑草、雑木の刈り払いやゴミの除去作業を行い河川の環境整備に努めました。	8/5	1,093名
名所旧跡及び自然景観の保全	町内全体で花いっぱい運動を展開し、各行政区それぞれの工夫を凝らした花壇を整備し、また、老人クラブと上郷小学校3・4年生の共同により、上郷小学校裏河川公園の花壇整備をしました。	6/7～6/11	延べ 340名
	町内ゴミ収集所付近を中心とした環境パトロールの実施により、不法投棄の防止と分別の徹底に努めました。	7/5、11/1	42名
	遠野遺産認定制度の活用により、町内4ヶ所の史跡、名所を遠野遺産とし、景観、環境保全に努めました。	10/10～ 1/31	100名
環境教育・講座等の推進	区長・保健推進委員合同研修会において、福島県いわき市「日産自動車いわき工場」で環境問題対策等について研修し、地域での公衆衛生活動の推進に努めました。	10/18・19	20名
その他	「上郷まつり」の実施及び上郷しし踊り保存会として上郷保育園児から高齢者まで遠野まつりへの参加を通して、郷土芸能の伝承に努めました。	6/17、9/14	500名 200名

## 【宮守町】

= 地区別の目標 =

自然環境に親しみながら、豊かな生態系及び自然環境の保全・継承に取り組みます。水資源の大切さを深く認識し、稲荷穴名水の湧水や、河川等を保全するため、環境保全対策等に努めます。

道路清掃等の清掃活動や花いっぱい運動の環境美化活動を推進します。

ごみの減量化やリサイクルの推進及び環境教育の奨励を行います。

	取組状況	実施日	参加者数
自然環境保全と継承の推進	「寺沢高原まつり」や「稲荷穴まつり」の開催及び小学生の稲荷穴でのキャンプ等とおし、自然とのふれあいを深めるとともに、自然環境保全意識の高揚に努めました。	7/22 8/5 年 4 回	78 名
河川の環境整備と水質保全	河川の環境保全を目的に、町内一斉に河川の草刈り及びゴミ拾い等を実施し、また、宮守川上流地区では 9 月にも河川の草刈りを実施しました。	6/10 7/1 9 月	245 名 1,182 名 238 名
環境美化活動の推進	一斉道路清掃の実施、宮守川上流地区による上宮守地内の国道 396 号線の法面の草刈りの実施、各自治会等における「花いっぱい運動」の実施により、町内の環境美化及び環境意識の高揚に努めました。	4/29	1,438 名
廃棄物の減量及びリサイクルの推進	各区の公衆衛生組合長や保健推進員等により、ゴミの正しい出し方や減量化などの推進に努めました。 また、町内小学校・中学校の子供会による夏休み期間等にビンやアルミ缶、紙類等リサイクル品目の回収に努めました。 公衆衛生組合による町内のゴミ収集所付近の不法投棄パトロールの実施により、不法投棄の防止と分別の徹底に努めました。	-	-
環境教育の奨励	宮守町内公衆衛生組合長を対象に、岩手・青森県境産業廃棄物不法投棄現場を視察し、不法投棄による環境破壊の実情や、地域で取り組むべき事項について考察を深めました。	1/24 ~ 25	17 名